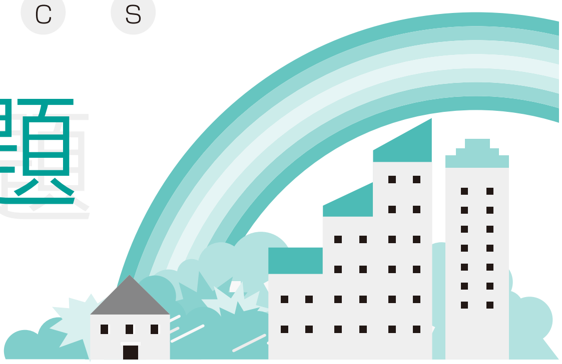
T O W N T O P I C S

まちの話題



▲タスキを受取る瞬間!「あとは、任せて!」

▲アンカーの伊東さん。
もう少しでゴールです!

▲とてもよい雰囲気のチームでした。皆さんお疲れさまでした。

12月7日(土)
みんなの想いをタスキでつなぐ
～「愛知万博メモリアル駅伝」

12月7日に愛・地球博記念公園(モリコロパーク)で行われた駅伝大会。小学生、中・高校生、一般選手の男女9人がタスキをつなぎ、高浜市チームは昨年の37位を上回る34位と健闘しました。「一人ひとりが全力を出し切り、昨年よりもよい結果を全員でつかみ取ることができました。」と笑顔で話してくれたのは、アンカーの伊東和也さん。また、監督の佐野昭二さんは「前半のよい流れを、最後までいかすことができた。練習よりもよいタイムが出て満足している。」と話してくれました。

懸命にタスキをつなぐ姿を目のあたりにして、写真を撮りながら思わず「頑張れ! 高浜!!」と叫んでしまいました。メンバーの皆さん! 感動をありがとうございました!!

12月8日(日)
地域に彩りと輝きを
～論地町「イルミネーション点灯式」

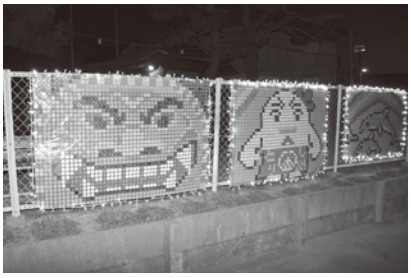
12月8日、論地児童遊園において、ろんち子ども会と論地町町内会の共催により「イルミネーション点灯式」が行われ、300人以上の参加がありました。「子どもたちといっしょに地域の名物をつくりたい」「夜間の防犯対策に」との想いから始めたこの事業も6回目を迎え、すっかり冬の風物詩に。

イルミネーションのデザインは、子どもたちから募集。優秀賞のデザインをもとに、子ども会や町内会の方たちが協力して、電飾づくりやの飾りつけを行いました。

また、今年はペットボトルのキャップを利用し、「鬼瓦」や「めしどり」を描いた「エコキャップアート」を、町内のグループホーム「ひだまりの家」の高齢者と共同制作し、児童遊園に新たな彩り・輝きを添えています。

地域の未来を明るく照らすイルミネーションは午後5時～9時に点灯、1月10日(金)まで楽しむことができます。

▲散歩がてら、見にきてね!



▲子ども会と「ひだまりの家」の高齢者が
共同制作した「エコキャップアート」

▲点灯に向けてカウントダウン
「3、2、1、スイッチオン!」